

保証書

品名	フードプロセッサー
型式	
お買上日	年 月 日
保証期間	1 年
お客様の住所	
お名前	
販売店名住所	

※必ず各欄をご記入ください。

- 故障が発生した場合は本書記載内容により修理いたします。
- 保証期間内は無料修理いたします。
ただし、次の場合は保証期間内でも有料になります。
・誤った使用目的・使用方法・改造による故障。
・落下・火災・地震など天災地変による故障。
・消耗部品の交換・保証書のないもの。
 - 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
 - 保証書は紛失されても再発行いたしません。
 - 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in japan.)
 - 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

●お客様窓口 TEL 0594 (32) 1131
〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

アフターサービスについて

- 保証書は記載内容をご確認の上大切に保管してください。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売会社など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げの販売会社にお申し出ください。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読みください。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売会社、または、最寄りの当社営業所までご連絡ください。

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション

●お客様窓口 TEL 0594 (32) 1131

フード機器事業部/三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1 〒511-0944
東京/TEL 03 (3633) 9501 大阪/TEL 06 (6788) 2251
名古屋/TEL 0594 (32) 1130 福岡/TEL 092 (474) 1312



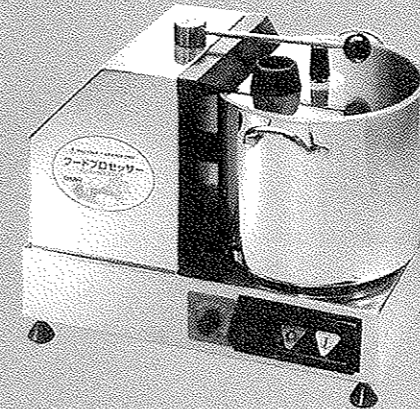
取扱説明書

フードプロセッサー

型式/RP600A



型式/RP900A



- このたびは、プロシェフ フードプロセッサーをお買い求めいただきましてまことにありがとうございました。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。なお、正しくご使用されなかった場合は、保証対象外となります。
- お読みになったあとは必ずいつも手元においてご使用ください。

お客様用

フードプロセッサー



もくじ

■安全上のご注意	1
■各部のなまえとその働き	4
●使用目的	4
●本体	4
●注意ラベルの貼付位置	5
■設置と運転前の確認	6
●設置	6
●運転前の確認	6
■ご使用方法	7
●運転の手順	8
●安全スイッチについて	9
■お手入れ	10
●毎日のお手入れ	10
●汚れが目立つときのお手入れ	11
■点検	11
●1年に1~2回の点検	10
●保管方法	11
■故障の見分け方と処置方法	12
■譲渡・廃棄	12
■仕様	14
保証書・アフターサービスについて…巻末	

CHUBU
株式会社 中部コーポレーション




安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が、想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を示します。

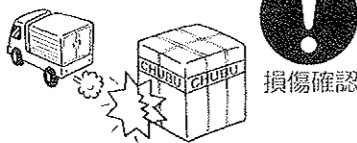
図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「感電注意」を示します。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「分解禁止」を示します。
	●は、強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

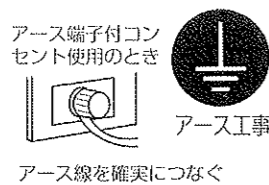
お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること

もし損傷があれば販売会社へ損傷の状況を（梱包箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガの原因となります。



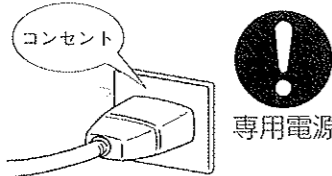
アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者によるD種接地工事が必要です。）



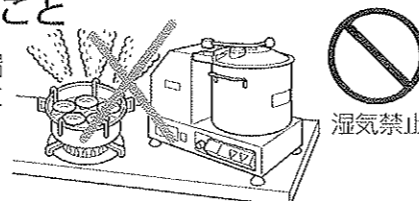
電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因となります。



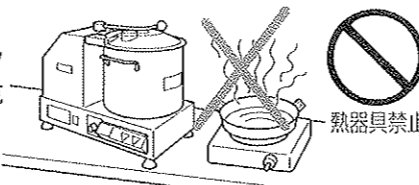
湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



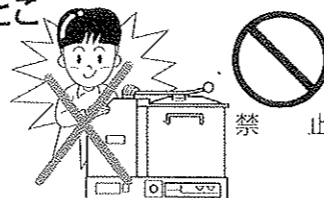
熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

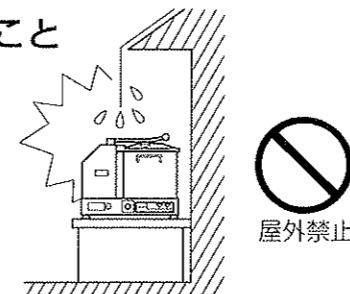
感電、ケガの原因になります。



警告

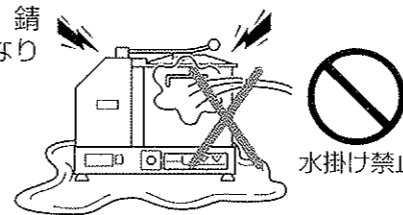
屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



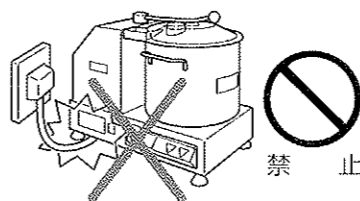
製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



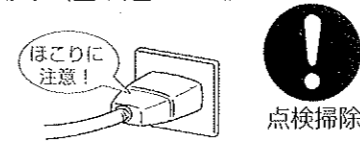
電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



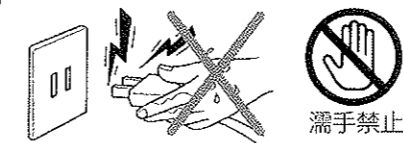
電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



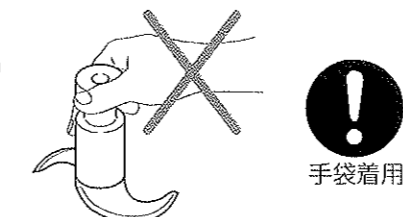
濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源ボタンを操作しないこと

感電の原因になります。



刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること

ケガの原因になります。



漏電遮断器を使用している場合、OFF（切）に作動した時には、最寄りの販売会社へ連絡すること

無理にON（入）にすると、感電や火災の原因になります。



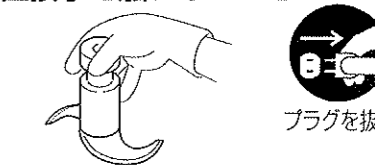
異常時は、ストップボタン（O）を押して、電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。



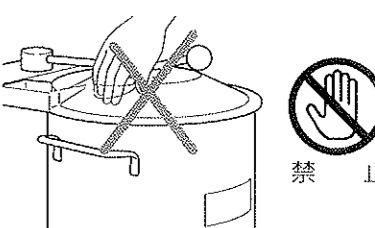
刃物の取り付け、取り外しは、ストップボタン（O）を押して、電源プラグをコンセントから抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと

ケガの原因になります。



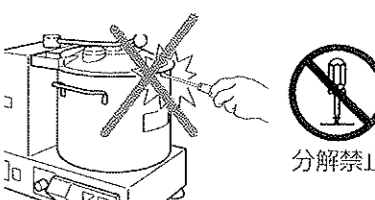
運転中に投入口から手や指を入れないこと

ケガの原因になります。



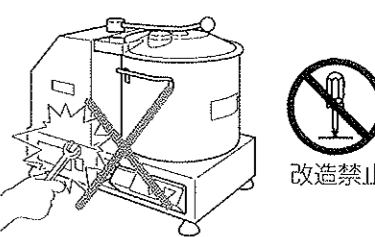
修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理しないこと（お手入れ作業は除く）

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



改造は絶対におこなわないこと

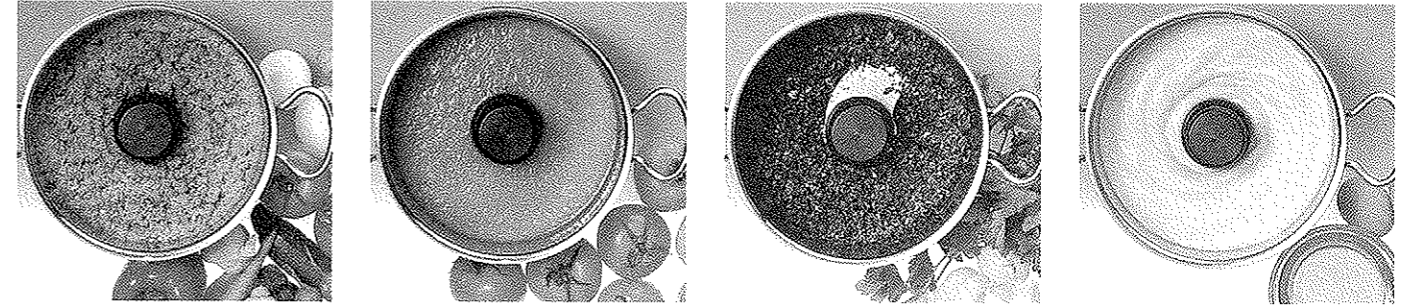
改造工事をされると、感電、火災の原因になります。



各部のなまえとその働き

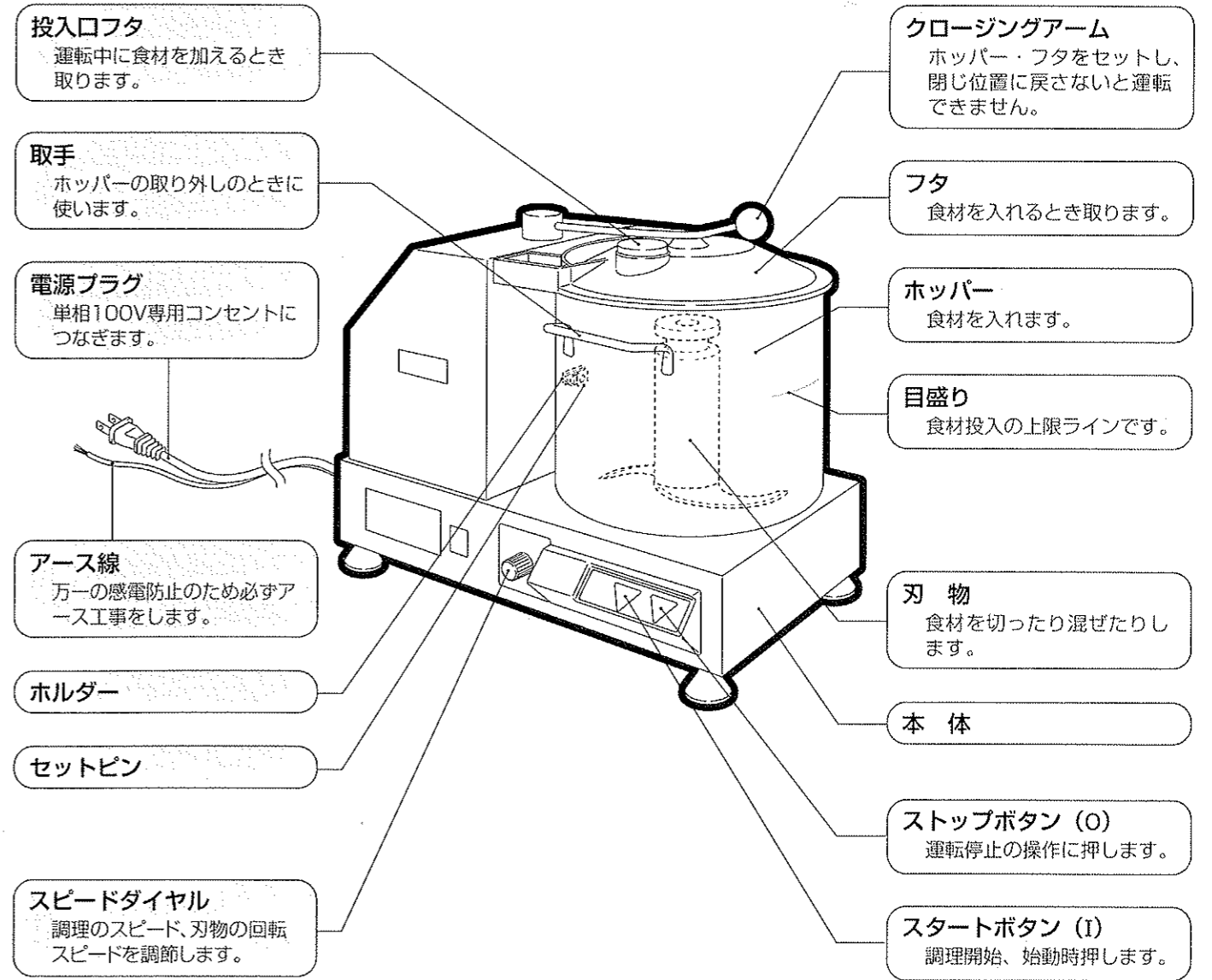
■使用目的

●食材を切る、混ぜる、こねて調理する機械です。



■本体

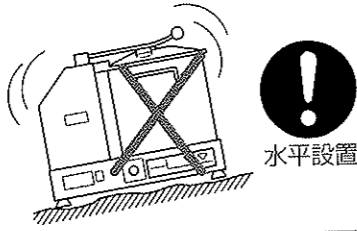
*イラストはRP600Aです。



⚠️ 注意

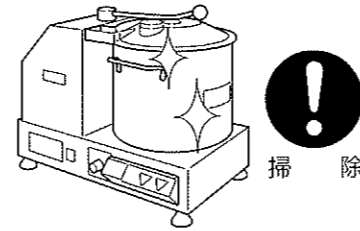
丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



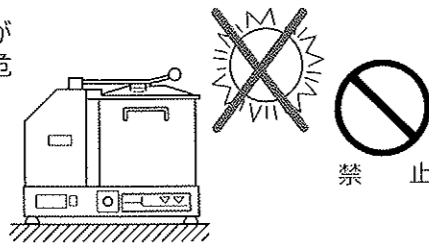
ホッパー・刃物は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康傷害の原因になることがあります



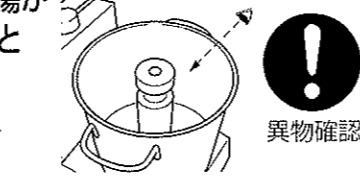
直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



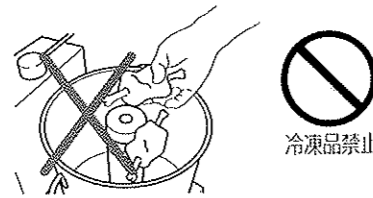
運転中にモーターが止まったときは、必ずストップボタン(0)を押して、電源プラグを抜き、ホッパー内の食材を捨て、刃物の損傷がないことを確認すること

食材を捨てないと、刃物の破片が食材内に入り危険です。



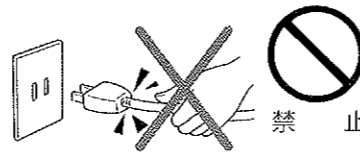
ホッパーの中に骨付きの食材、冷凍の食品・魚類、あるいは食品以外のものを使用しないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



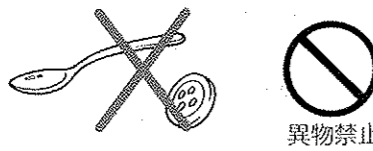
電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。



投入口の中に食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。



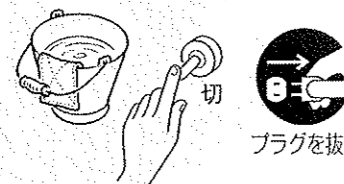
一日の営業が終了したら、安全のためストップボタン(0)を押して、電源プラグをコンセントから抜くこと

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。



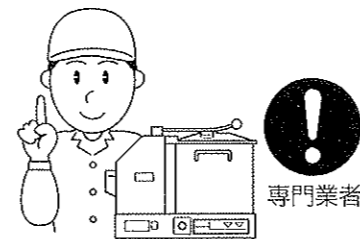
掃除するときや点検のときは、必ずストップボタン(0)を押して、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出してケガの原因になります。



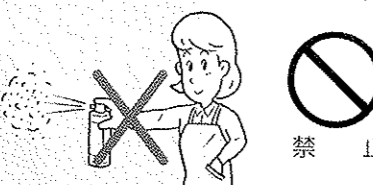
廃棄は専門の業者か、最寄の販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。

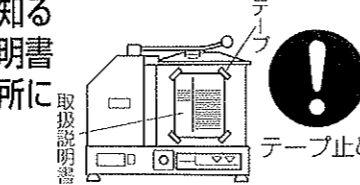


可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。



このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つ所にテープ止めすること

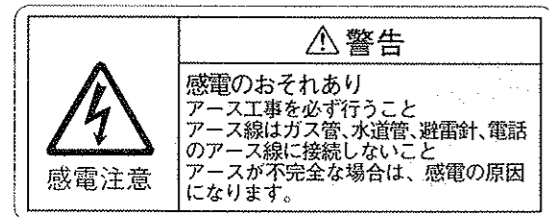


■注意ラベルの貼付位置

お願い

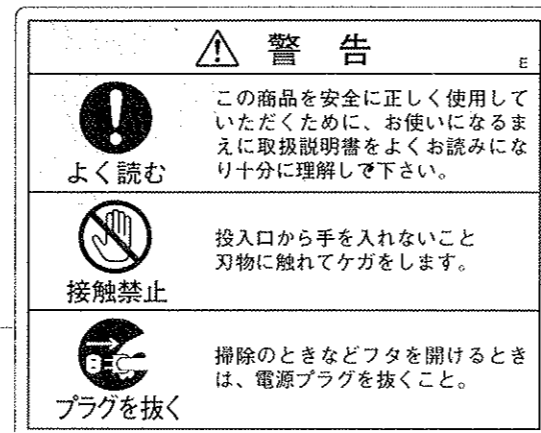
- ラベルを剥がさないでください。
- ラベルが剥がれたり、文字が消えたりした場合は、販売会社より購入し、貼り替えてください。
ご注文のときは、ラベルの品名をご指示ください。

品名：PLラベル/カンデン 702

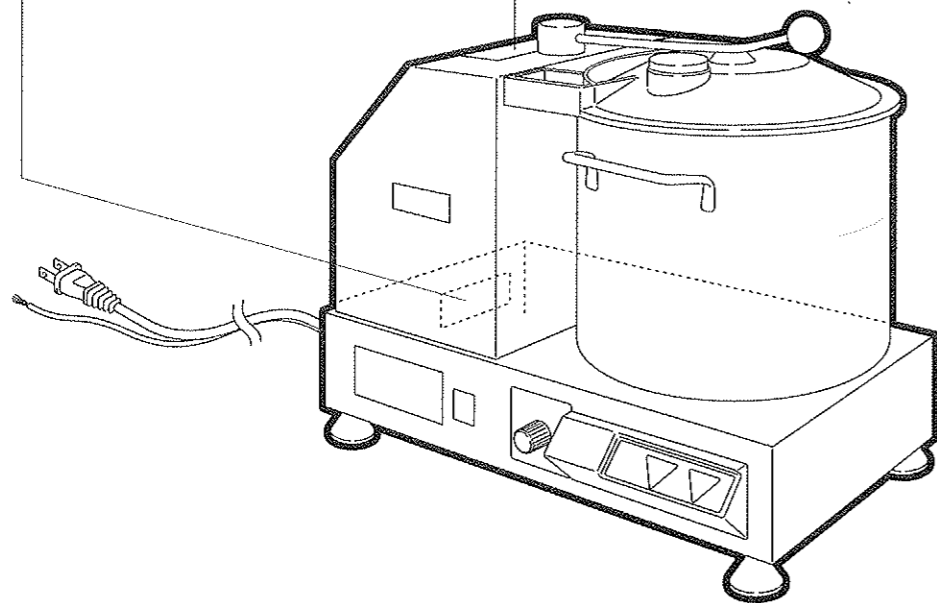


(本体左側面に貼り付けてあります)

品名：PLラベル 780



(本体上面に貼り付けてあります)



■設置

警告

アース工事を必ず行なうこと

アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事業者によるD種接地工事が必要です。)



アース工事

熱器具(ガスコンロ等)を周囲に置かないこと

熱でプラスチックが溶けたりして危険です。



熱器具禁止

電源は専用コンセントを使用すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用及びタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



専用電源

この製品は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところに設置しないこと

感電、ケガの原因になります。



禁止

湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けけないこと

絶縁低下から漏電、感電の原因になります。



湿気禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電・感電の原因になります。



屋外禁止

注意

丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。



水平設置

直射日光の当たるところで使用しないこと

プラスチックが割れたりして危険です。



禁止

■運転前の確認

- 電源は交流100Vに接続してください。
使用電源電圧は100Vでお使いください。但し発電機は使用しないでください。発電機使用時の故障は保証いたしません。
- 製品は最大湿度(非塩性)75%、温度範囲+5℃から35℃の部屋に設置してください。
- 初めてお使いになる時は、保管時にホコリ・ゴミなどがホッパー内に入っている恐れがありますので、掃除をしてください。(P.10 使用後のお手入れ参照)

■その他

- 地域によっては、イベント等での氷削機の使用が許可されていない場合がありますので当該機関(保健所等)までお問い合わせください。

ご使用方法

警告

運転中に投入口から手や指を入れないこと
ケガの原因になります。



禁止

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと



濡手禁止

感電の原因になります。

刃物の取り付け、取り外しは、ストップボタン(I)を押し、電源プラグをコンセントから抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと



禁止

ケガの原因になります。

プラグを抜く

異常時は、ストップボタン(I)を押して電源プラグを抜くか、元電源を切って、すぐに最寄の販売会社へ連絡すること



禁止

異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。

プラグを抜く

注意

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと



禁止

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと



禁止

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引張るとコードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります。

1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグをコンセントから抜くこと



禁止

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になることがあります。

プラグを抜く

投入口の中に食材以外の異物(スプーン・つま楊枝・ボタンなど)は入れないこと



禁止

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

運転中にモーターが止まったときは、必ず電源スイッチをOFF(切)にし、電源プラグを抜き、ホッパー内の食材を捨て、刃物の損傷がないことを確認すること



異物確認

食材を捨てないと、刃物の破片が食材内に入り危険です。

ホッパーの中に骨付きの食材、冷凍の食品・魚類、あるいは食品以外のものに使用しないこと

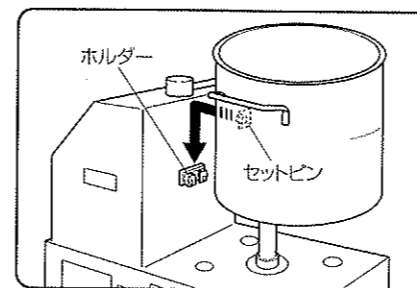


禁止

モーターが止まり、発熱、火災の原因になることがあります。

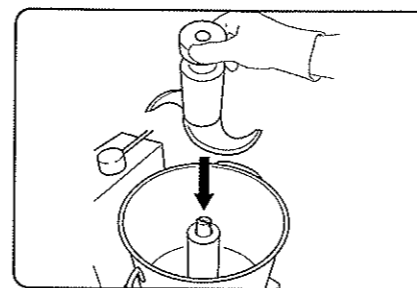
冷凍品禁止

■運転の手順



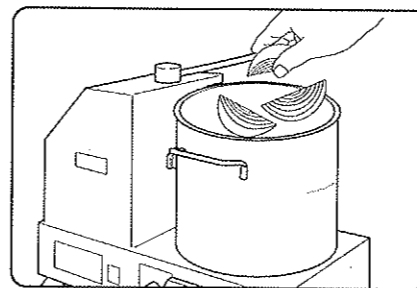
1 ホッパーを本体に取り付ける。

- セットピンを左側にし、ホッパーを本体の回転軸に通しセットします。ホッパーを少し回転させホルダーにセットピンをはめ込んでください。(セットピンがホルダーに正確にはまっていないと動きません。)



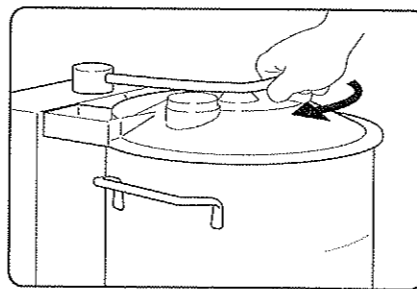
2 刃物を回転軸に差し込む。

- 刃物カバーを外してから、刃物を回転軸に差し込みます。刃物を少し回転させて正確にセットしてください。
- ※RP900Aは刃物上部の穴から見て、回転軸の凹部に合わせます。RP600Aは穴がありませんが、正確にはまると下方に少し下がります。
- ※ホッパーの底と刃物は約3mmすき間ができます。



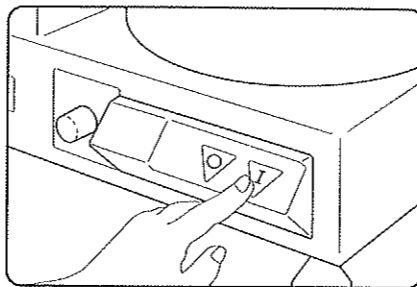
3 食材を入れる。

- ※刃物が回転していない、スピードダイヤルが一番左の位置に設定してあるのを必ず確認してください。
- 食材の種類に応じて適当な大きさに切ってから入れてください。
- ホッパー側面の印(ライン)以上は食材を入れしないでください。
- ※調理した食材があふれ出る場合があります。



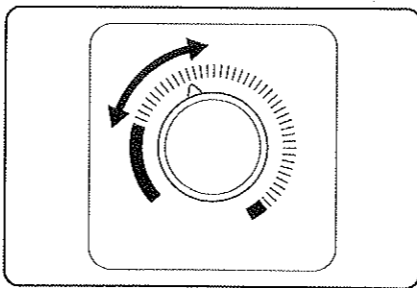
4 フタをし、クロー징アームを閉じる。

- ホッパーのフタをし、クロー징アームを時計方向に回し、フタの中心に少し持ち上げ、閉じ位置にセットします。(確実にセットされていないとスタートボタンを押しても動きません。)
- フタの投入口に、投入口フタをします。



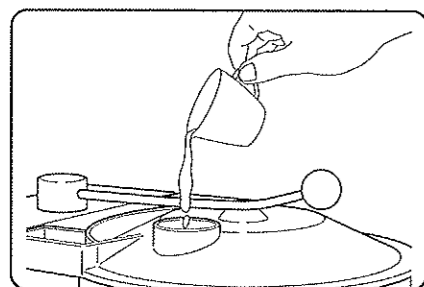
5 スタートボタン(I)を押す。

- 調理開始
- ※連続してお使いになると、食材によっては、温度が上がり変色することがあります。

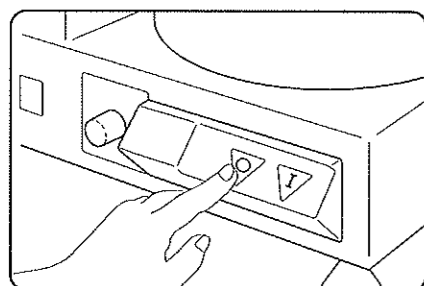


6 スピードダイヤルを調節する。

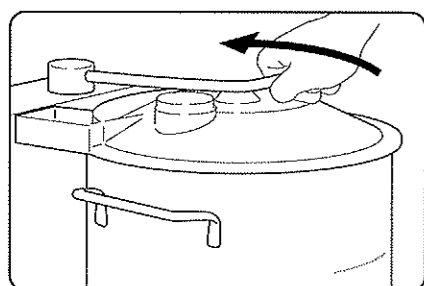
- 調理の目的によって刃物の回転スピードを調節してください。左に回すと遅く、右に回すと刃物は早く回ります。



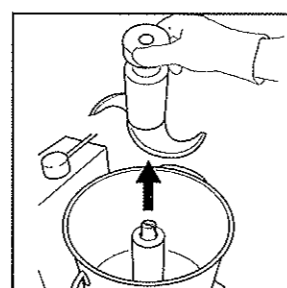
6 調理中に食材を追加する場合。
●投入口フタをとって具材・調味料などを追加してください。



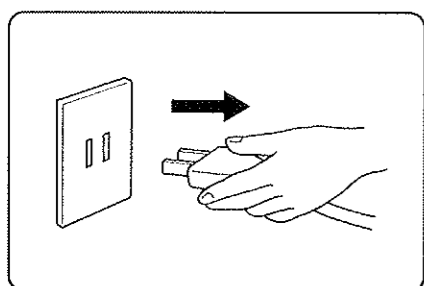
7 ストップボタン (O) を押す。
●調理終了。ストップボタン (O) を押すと刃物の回転が止まります。



8 調理した食材を取り出す。
●刃物が完全に停止したのを確認してからクロージングアームをやや持ち上げながら反時計方向に回し、フタを取り外してください。



●刃物を上に抜いてください。
●ホッパーを上方向に本体から外し、他の容器に調理物を取り出してください。



9 使用後は電源プラグを抜く。
●1日の営業が終了したら、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■安全スイッチについて

- 運転中に「フタ」を開ける（クロージングアームを外す）と、危険防止の為、安全スイッチが働き製品が停止します。
- 安全スイッチ（クロージングアーム）を電源スイッチのかわりに使うことは絶対にしないでください。故障の原因になります。
- ホッパーの位置が正しくないと、クロージングアームを閉じても運転できません。ホッパーのセットピンを本体のホルダーに正しくはめ込んでください。

⚠ 警告

製品に直接水をかけないこと

ショート、感電、錆び、故障の原因になります。



水掛け禁止

刃物の取り付け、取り外しは、ストップボタン (O) を押して、電源プラグをコンセントから抜き、手袋をはめて行い、刃先に直接手を触れないこと



プラグを抜く

ケガの原因になります。

濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと



濡手禁止

刃物の取り扱いには、必ず手袋を着用すること



手袋着用

ケガの原因になります。

⚠ 注意

掃除するときや点検のときは、必ずストップボタン (O) を押して、電源プラグも抜くこと

思わぬところに水が入って感電したり、製品が動き出してケガの原因になります。



プラグを抜く

可燃性スプレーを近くで使用したり、揮発性、引火性のあるものを置かないこと



禁止

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

ホッパー・刃物は使用前に必ず掃除をすること

掃除をしないと、雑菌が繁殖し、健康被害の原因になることがあります。



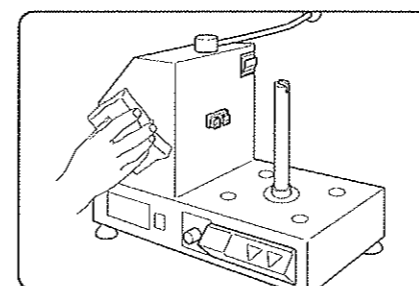
掃除

お願い

- 40℃以上のお湯で洗わないでください。プラスチックが変形することがあります。
- 塗装面やプラスチック部には、つぎのようなものは使わないでください。シンナー・ベンジン・アルコール・石油・粉石けん・みがき粉・アルカリ性洗剤・酸・次亜鉛素酸ソーダ・たわしなど。ただし、化学雑巾・アルコール除菌剤をご使用のときは、その「使いかた」に従ってください。

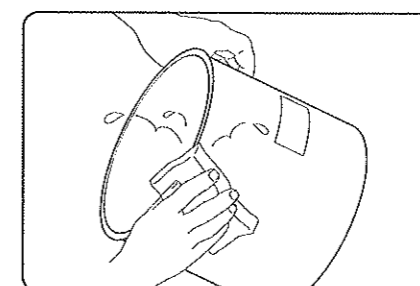
■毎日のお手入れ ●ご使用後は必ずお手入れをしてください。食材が腐り衛生的に非常に悪くなります。

●外装の掃除



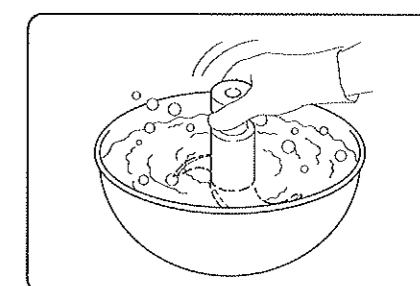
濡れた布巾で拭き取った後、十分に水気を拭き取ってください。特に汚れがひどいときは、中性洗剤をご使用ください。

●ホッパーの洗浄



スポンジ又は布巾に食器用洗剤を含ませて洗い水でよくすすぎ、乾いた布で水分をとり、十分に乾燥します。磨き粉や硬いタワシ、シンナーなどの溶剤は使わないでください。

●刃物の洗浄

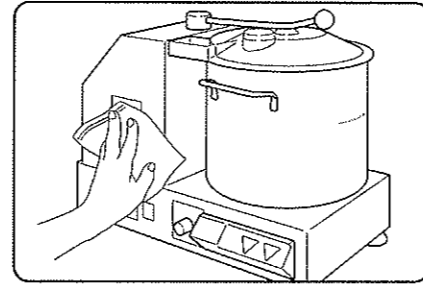


バケツやボールなどに水をはり、食器用洗剤を加えて、刃物の合成樹脂の部分を持って振り洗いした後、水で十分にすすぎ洗いをしてください。

故障の見分け方と処置方法

■汚れが目立つときのお手入れ(本体外面)

- 中性洗剤を入れたぬるま湯を含ませた布巾で拭いた後、洗剤分が残らないように水を含ませた布巾で拭き取ってください。



点検

■1年に1~2回の点検

警告

電源コードを傷つけたり、汚さないこと

加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁止

電源プラグの刃及び刃の取り付け面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。



点検掃除

アース線の点検

- アース線は切れたり、接続部がゆるんでいませんか？

異常がある場合は、電気工事店に修理依頼してください。

電源コード・プラグの点検

- 専用コンセントを使用されていますか。
他の機器と共用になっているときは、専用コンセントに差し換えてください。
- 電源プラグの刃の取り付け面及びコンセントに、ホコリが溜まっていませんか。
ホコリがついている場合は、ホコリを取り除いてください。
- 電源コードが傷ついたり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだり、汚れていませんか。

異常がある場合は販売会社または、電気店に相談してください。

■保管方法

一週間以上使用しないときは、製品を十分に乾燥させてから、湿気のないところに保管してください。

警告

修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しないこと
(お手入れ作業は除く)

異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。



分解禁止

お願い

- 故障かな?と思ったら、次のことをお調べください。それでも具合の悪いときは、販売会社または最寄りの当社各営業所へご連絡ください。販売会社へ連絡するときは、型式・製造番号・据付年月日と故障状況をお知らせください。

現象	お調べいただきたいところ	処置方法
刃物が回らない	●電源プラグが抜け落ちていませんか？	●コンセントに差し込んでください。
	●プロテクターが作動していませんか？	●安全スイッチの項参照。(P.9)
	●フタは確実に取り付けられていますか？	●フタを確実に取り付けてください。
	●食材を入れる量が多すぎませんか？	●食材の量を減らしてください。
食材の切れ味が悪い	●刃物が摩耗していませんか？	●刃物を研いでください。 ●刃物を取り替えてください。

譲渡・廃棄

■譲渡

注意

このお使いになっている製品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を製品本体の目立つところにテープ止めすること



テープ止め

■廃棄

注意

廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること

放置しますとケガの原因になることがあります。刃物は危険な物として処理してください。



専門業者

MEMO

仕様

品名	フードプロセッサー	
型式	RP600A	RP900A
電源	単相100V 50/60Hz	
定格消費電力	350W	700W
定格時間	連続	
質量(重量)	11.0kg	25.0kg
外形寸法(幅×奥行×高さ)	377×300×337mm	470×345×401mm
容量	ホッパー5.3リットル(有効3.1ℓ)	ホッパー9.3リットル(有効5.3ℓ)